

平成30年度事業報告

(自 平成30年4月1日～至 平成31年3月31日)

全日本剣道連盟

本連盟は、平成30年度事業計画に基づき計画した各種事業を着実に実施し、所期の成果を収めることが出来た。重点方策として普及と発展のための教育関係事業の充実、中学校武道必修化に対する支援事業、指導・教育体制の強化、称号・段級位制度の適正な運用、試合・審判規則等の厳正な運用による試合内容の充実と活性化等8項目を定め、以下の事業を展開した。

大会関係では、行事日程表(別添1)のとおり、全日本剣道選手権大会をはじめとする主催9大会の他、共催大会9大会を、また主管大会として国民体育大会剣道大会((公財)日本スポーツ協会の委託)を行った。

また、行事日程表に記載の29大会の後援に加え、記載のない15の大会に対して、賞品提供、プログラムに会長挨拶あるいは後援名義掲載などの支援を行った。

財務面は、収支計算書の事業活動収入計は716百万円、事業活動支出計は816百万円、事業活動収支差額は、予算では△112百万円のところ、実績は△100百万円となった。投資活動収支差額は101百万円、当期収支差額は△9百万円、次期繰越収支差額は△10百万円となった。

1. 普及

当委員会は【剣道の質の向上と普及に努める】を主目的とし、重点事項6項目を掲げ、次の通り活動した。

(1) 普及・指導・教育、普及の効果を高めるため、各種大会、研修会等の状況把握と検討により、一層の充実を図った。

①主催・主管試合の趣旨等を把握し、試合および会場運営・放送等のあり方を検討した。

＊主管の全国青年剣道大会の支援体制を整備し、平成30年度から日本青年協議会と共催大会とした。

②剣道研究会の目的を再確認し運営方針を検討し、出席者による討議・意見交換を主体として運営した。

＊【「剣の理法」を考える資料―「剣道の理念」の理解を深めるため―】を活用した討議を実施した。

③中央講習会の位置づけを明確にし、講習内容の大枠策定、講師候補者の人選並びに効果的な運営を促進した。

④年齢、性別等に対応した剣道行事の在り方検討に着手した。

(2) 都道府県剣連が主催する全剣連後援講習会の位置づけを明確にして、講習会実施方法等を見直し、講習内容の充実を図った。

①後援講習会の実態を把握し、課題の抽出と改善策に着手した。

②財政上の問題から、平成31年度の後援講習会開催回数並びに在り方を検討した。

(3) 「剣道の良さ」を普及させるための都道府県剣連の活動を支援した。

①ポスターを活用した普及活動の効果を検証し、引き続き本活動を継続・促進した。

②地域放映、報道機関との連携およびケーブルTVの活用を検討した。

- (4) 各専門委員会と協働し、全剣連の掲げる重点事項の遂行を支援した。
 - ①各関連団体への支援・提言を検討した。
 - ②海外普及の在り方に係わる調査・研究に着手した。
 - *日本の求心力向上策の一助として「剣道理念」を明確かつ端的な説明方法の検討に着手した。
 - ③各都道府県剣連と連携した指導・教育・普及促進を検討した。
- (5) 各専門委員会と連携して普及活動に取り組み、各関連団体が行う普及・指導・教育活動を支援した。
 - ①各都道府県剣連と連携した指導・教育・普及促進を検討した。
- (6) 剣道指導要領に則った所作・礼法の普及を図った。
 - ①剣道界全体の動向把握に努めた。

2. 学校教育関連

- (1) スポーツ庁委託事業「平成30年度武道等指導充実・資質向上支援事業」が無事終了し、スポーツ庁へ報告書を提出した。
 - ①平成33年度新中学校学習指導要領の完全実施にむけて改版した指導書「新中学校学習指導要領に準拠した安全で効果的な剣道授業の展開・ダイジェスト第3版」をもとに、授業協力者指導充実・資質向上講習会を各都道府県において実施した。平成30年度までの登録授業協力者総数は3,750名となった。しかし、今年度の授業協力者活用数は314名と依然として少なかった。
 - ②原則的に授業協力者を活用している中学校(17校)において公開授業を実施し、生徒・学校関係者(保健体育科教員、学校長)・参観者等から本支援事業の効果について調査を実施した。
- (2) 平成30年度全国剣道指導者研修会(日本武道館・全日本学校剣道連盟との共催)を実施した。これまでの受講者総数は3,420名となった。
- (3) 小学校への武道導入に向け、小学校における実態等について状況把握や情報収集に努めた。
- (4) 中学校および高等学校における部活動指導員の法制化について、その意図や問題点を把握した。そしてスポーツ庁「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に準拠した「中学校部活動における剣道指導の手引き」を作成し、全日本剣道連盟ホームページに掲載した。

3. 指導

平成30年度の指導委員会は、「剣道を正しく普及するための指導法についての研究および検討を行う」ことを主目的とし、「重点事項」6項目を掲げ、次の通り活動した。

- (1) 「剣道の理念」「剣道修錬の心構え」「剣道指導の心構え」を基盤とした指導法の推進に努めた。「剣道の理念」「剣道修錬の心構え」「剣道指導の心構え」を基盤にして、各講習会・研修会の趣旨と受講者の錬度に応じた教習内容を構成して理解を深めさせるとともに、正しい剣道指導の在り方について研究および検討を行った。
- (2) 「日本剣道形」「木刀による剣道基本技稽古法」「竹刀稽古法」の位置付けとつながりを踏まえた指導法の具体的内容を構築して提示するとともに、その啓発ならびに普及・指導を図った。

- ①「日本剣道形」を原点とし、「木刀による剣道基本技稽古法」を「日本剣道形」と「竹刀稽古法」との橋渡しの役割と位置づけ、「竹刀稽古法」における「理法の修練に基づく気剣体一致の見事な一本の追求」を目標とした指導体系を構築し、その要点を提示して普及・指導に努めた。
- ②全日本剣道連盟後援講習会の「指導法」と、指導委員会が提示・提唱した「竹刀稽古法」との関係性について論説し、「竹刀稽古法」の認識度が高まるよう努めた。すなわち、「竹刀稽古法」は、従来「指導法」と呼ばれていたが、指導委員会としては、剣道の歴史・文化性に基いて制定された「剣道の理念」「剣道修練の心構え」「剣道指導の心構え」を基盤にした剣道の教育・指導を推進する立場から、指導法講習の一科目として「竹刀稽古法」と提唱した。
- ③剣道研究会において、指導委員会の研究課題である「刀と木刀と竹刀の繋がりから導き出される有効打突の指導法」について発表し、研究を深めた。
- (3) 指導法講師の養成を図るため、講師要員（指導法）の講習・研修会を実施し、指導力向上を図った。
 - ①心身の錬磨による「人づくり」を担える指導者の役割と指導力の要請に努めた。
 - ②錬度に応じた指導法のあり方の研究を深めた。
- (4) 女子剣道指導者の技能の向上と指導力の向上を図った。
女子指導法講習会を年度内に2回開催（東西）することとなった。特に女子の剣道指導者は幼少年指導を担っていることから、女子剣道指導法講習会においては、指導者としての資質向上を図ることを主目的としながら、受講者の技能向上も図れるように教習科目内容と教習順序を構成した。さらに、正しい剣道指導の在り方と錬度に応じた指導内容を具体的に提示し、研修を充実させた。
- (5) 講習会・研修会における講話、および各講習科目を教習するなかで、本連盟刊行の「剣道指導要領」「剣道講習会資料」「日本剣道形解説書」「木刀による剣道基本技稽古法」「剣道社会体育教本」「剣道授業の展開」を活用し、受講者の理解の向上に努めた。
- (6) より適切な指導法のあり方について研究、協議を進め、関連の専門委員会（普及、学校教育、強化、試合・審判など）との連携を図り、国内外の各層・各領域に剣道を正しく普及するよう努めた。

4. 称号・段位

(1) 称号審査・段位審査

- ①称号・段位審査は、審査員選考委員会において審査員を選考して実施した。錬士の称号は小論文提出・教士の称号は筆記試験を年2回（4月・11月）実施した。三道で新たに錬士1, 273名（剣道1,142名・居合道98名・杖道33名）、教士634名（剣道594名・居合道33名・杖道7名）が誕生した。範士審査は、年1回（5月）実施され、剣道7名、居合道3名、杖道3名の計13名の範士が誕生した。
- ②六段以上の段位については、剣道・居合道・杖道で計29回の審査会を実施した。総受審者数は、13,863名と前年度比2,953名増加した。

平成30年度 六段ないし八段の合格者数 ()内は女子で内数

種別 段位	剣道	居合道	杖道	合計
六段	1, 449 (166)	110 (12)	19 (6)	1, 578 (184)
七段	1, 038 (64)	58 (9)	10 (0)	1, 106 (73)
八段	25 (0)	3 (1)	1 (0)	29 (1)
合計	2, 512 (230)	171 (22)	30 (6)	2, 713 (258)

一方、本連盟の委任により各都道府県剣連が実施している初段ないし五段の審査の合格者総数は、73, 954名と前年度比4, 449名減少した。

また、剣道人口の増減の指標である初段取得者は、33, 213名と前年度比2, 867名減少となった。

平成30年度 初段ないし五段の合格者数 ()内は女子で内数

種別 段位	剣道	居合道	杖道	合計
初段	32, 013 (11,759)	911 (326)	289 (87)	33, 213 (12,172)
二段	22, 724 (8,000)	712 (227)	252 (77)	23, 688 (8,304)
三段	10, 069 (3,246)	452 (125)	169 (46)	10, 690 (3,417)
四段	3, 422 (753)	303 (46)	110 (28)	3, 835 (847)
五段	2, 279 (373)	193 (31)	56 (11)	2, 528 (415)
合計	70, 507 (24,131)	2, 571 (775)	876 (249)	73, 954 (25,155)

(2) 東京オリンピックに伴い2019年11月の六・七・八段審査は、八王子総合体育館で実施することとした。

(3) これまでの剣道六段以上の審査においては、二刀と立ち会った場合は3回立会を実施してきたが、2019年度からは特別配慮を廃止し一刀と同様とした。

5. 試合・審判

(1) 審判員としての適正な試合運営能力および指導力の向上のため実践的研修を行った。

①講師要員(試合・審判法)研修会(38回、39回)を実施した。

目的の遵守のもと研修内容・講師の人員・日程等を見直し、効率的な研修会の実施に努めた。内容として、実技演習、講師演習や講話等を行い、講師としての人材育成と適性の把握に努めた。

- ②東・西日本中央講習会において、有効打突、禁止行為など共通の認識の徹底に着目しつつ、審判員の役割について、見解に誤りのないよう講習を行った。
 - ③各都道府県等、加盟団体での後援講習会に際し講師を派遣し、試合・審判に関する[重点方策、重点事項]の方針及び施策等についての的確に実施した。
 - ④全剣連主催・共催大会での審判員の状況を踏まえ、課題及び共通認識を醸成するため、主催大会前日に審判研修会を実施し、有効打突・禁止事項等の確認を行った。審判員からの活発な質問、意見等があり意識の調和に努めた。
- (2) 研修会・講習会を通し女子審判員の育成、審判技術の向上を図った。女子審判員の育成と審判技能の向上を図り、女子審判員の充実を目的に本年度より女子審判講習会1回、研修会2回実施した。
 - (3) 各国の審判員育成ならびに審判技術の向上に向け支援を行った。第17回世界剣道選手権大会(韓国)に向けて、審判員の育成・支援も踏まえ、各ゾーン(アジア、アメリカ、ヨーロッパ)で行われる審判講習会についての検討及び講師を派遣し、講習会が充実した内容となるよう支援した。
 - (4) 剣道用具の仕様の適正化を図った。平成30年度、医・科学委員会等との協力のもと「剣道具及び竹刀安全性検討特別小委員会」を設置し現状について把握に努め剣道具の仕様について継続調査を行った。試合・審判委員会としては、意見を集約し、公平性及び試合時の安全性の観点から小手布団の長さ及び竹刀の形状についての研究結果を纏めた。来年度以降の施行に向けて鋭意推進していくことを確認した。

6. 強化

強化委員会は、剣道理念に基づき、剣道修練の心構えを踏まえて、指導目的に沿った我が国固有の伝統文化である剣道を正しく継承し、剣道の力量・質等を兼ね備えた剣士の育成・強化を図る為、以下の重点項目を推進した。

- (1) 第17回世界剣道選手権大会に向けた全日本代表候補選手の強化を図った。指導体制を確立し、全日本を代表する選手の強化育成を図り、世界の中で誇れる剣士、見本と成りうる剣士を錬成することを大目標に、優勝を最終目標として、気力・技術・体力の強化錬成(日本伝統文化に裏打ちされた、強く正しい剣道錬成)を行った。また、選抜特別講習生も含めた強化訓練を行い、切磋琢磨しながら強化訓練の活性化を図り、四半期ごとに講習生を絞り込み、随時検討を重ね10名の選手を決定し、エントリーメンバーに至った。
- (2) 剣道選抜特別訓練講習会を実施した。全国から青年層の中核となる剣士を選抜し、剣道の水準の向上を図るために特別に養成を行った。セッションごとに(高校生、大学生、教職員、実業団、自衛官・刑務官、警察職員)選抜し、裾野の拡大拡充を図りながら将来の全日本を担う、いわゆる「骨太な剣士」の育成に努めた。講習会を男女各3回実施した。
- (3) 第56回中堅剣士講習会を実施した。各都道府県剣道連盟の中核となる剣士を錬成強化して、各剣道連盟の指導者としての能力の養成を目的として実施した。
- (4) 9月の韓国の仁川で開催された第17回世界剣道選手権大会は所期の目的であった男女(個人戦・団体戦)共に完全優勝を達成することができた。

7. 居合道

- (1) 中央講習会及び地区講習会を開催し全剣連居合の普及を図った。解説書に基づいた正確で正しい居合の指導に努め、中でも申し合わせ事項による指導要点に則りその修得に努めた。中央講習会は京都で開催した。審判法は審判規則、細則を細部に渡り指導、実戦形式で体験、さらに古流の研鑽を推奨、その修得に努めた。地区講習会は東日本を山形県天童市で西日本を和歌山県和歌山市で実施した。その地域に伝わる古流の紹介として古流の研鑽を行った。
- (2) 解説書着眼点に基づき型から形のある居合へのレベルアップを図った。特に攻め（三攻一致）体捌きに重点を置きながら対敵の居合へ正しく正確な技の習得に努めた。
- (3) 居合道の普及のため、23都道府県の講習会に講師を派遣するとともに海外8カ国・地域の居合道講習会に講師を派遣した。
- (4) 中堅指導者の技術及び指導力の向上を図った。各講習会において指導的立場にある高段者を対象に、年齢力量を見極めた技術的な指導及び精神的（禅、儒教）な面も含めた指導力の養成に努めた。
- (5) 全日本居合道都道府県対抗優勝大会を茨城県水戸市で開催した。また、居合道八段研修会を東日本は東京で、西日本は北九州で開催し、指導者としての意識改革を促した。

8. 杖道

- (1) 全日本剣道連盟杖道（解説）の英訳版を発行した。海外の講習会において、この解説書に基づき講習指導を行い、全剣連杖道の徹底と普及を行った。
- (2) 中央講習会及び地区講習会を実施した。中央講習会においては、各県の指導的立場の参加者に対し、指導力の更なる向上及び審査員・審判員としての必要知識の習得、試合運営能力の向上を図った。また、地区講習会においては、初歩的審判技能訓練を取り入れたほか、指導者としての意識改革を図った。
- (3) 地域格差の解消に努めた。全国を8ブロックに分け、講師派遣事業の充実と効率化を図った。これにより、杖道人口の少ない県でも近県と協力して講習会を開催することができ、指導者の多い地域と少ない地域との技術格差を少なくするとともに、意識の向上と普及の意欲増進を図ることができた。

9. 社会体育指導員養成

- (1) 平成30年度社会体育指導員養成講習会における新規認定者は、前年度比22名減の511名で、内訳は初級412名（内、女子111名 27%）、中級95名（内、女子29名 31%）、上級44名（内、女子4名 9%）であった。また、更新認定者は前年度比185名減の828名で、内訳は初級447名、中級165名、上級216名であった。なお、認定者累計は初級9,798名（内、女子1,347名 14%）、中級2,915名（内、女子309名 11%）上級999名（内、女子70名 7%）となった。
- (2) 書類審査による更新講習では、初級63名、中級38名、上級44名を認定した。対象者は、更新2回目以降で年齢が70歳以上の希望者、および教士八段以上の希望者。
- (3) 各講習会において、実技実習（剣道形、指導法、審判法）を原則3日間実施することにより、学習内容を段階的に整理しながら技能と指導力の定着を図った。また、実技の実習状況を撮影した動画を講義時間に視聴・確認する「振り返り活動」を通して講習会の一層の充実を図った。

- (4) 指導法の工夫として、①全員参加型や一人審判を取り入れた審判法実習、②日本剣道形の個別指導（中級・上級）、③「木刀による基本技稽古法」の一斉指導・グループ指導、以上の取り組みにより基本技術および応用技術の向上に努めた。
- (5) 受講生が前泊なしで講習会に参加できるように、受付時間を繰り下げるなど日程の工夫を引き続き実施した。
- (6) 学校教育部会との緊密な連携のもとに講習内容の充実を図り、各都道府県教育委員会への有資格者の活用依頼を行った。

10. 国際

- (1) 平成30年9月に韓国仁川市で開かれた第17回世界剣道選手権大会に、選手団34名、審判団17名ほか総勢78名を派遣。全部門優勝という大成功を収めた。
- (2) 世界選手権大会前に開催された国際剣道連盟理事会及び総会に会長をはじめ役員を派遣し両会議の議事進行を支援した。
- (3) 国際剣道連盟との連携の下に、世界大会審判講習会を2回開催し、各講習会に高いレベルの日本選手を模擬試合者として派遣し効果的な講習会開催を支援した。6月には成田市に世界大会審判員を全員集め、全剣連範士八段の審判員他が講師を務め審判講習会を全剣連の費用で開催した。この講習会には大学生選手に模擬試合者を依頼した。世界大会直前に開かれた審判講習会でも上記講師が指導を行い、模擬試合者9名を日本から派遣した。
- (4) 国際剣道連盟主催によるアジア（平成29年10月）、アメリカおよびヨーロッパ（平成30年2月）における各ゾーン審判講習会に講師を派遣した。また昨年度に引き続き、アメリカ、ヨーロッパに加えて今年度はアジアゾーン講習会にも全日本クラスの選手候補者6名を模擬試合者として派遣し、審判講習会の質の向上に貢献した。
- (5) 国際剣道連盟の事務・運営援助の一環として、加盟国からの全剣連審査会、全日本剣道演武大会への申込、加盟国審査会での全剣連所属在住会員の審査員承認などの業務を行った。
- (6) スポーツアコード総会/タイ（平成30年4月）、およびIFフォーラム/スイス（平成30年11月）に全剣連役員を国際剣道連盟代表として派遣。総会ではスポーツフェスティバルに全剣連国際委員を派遣、現地剣士と一般向け剣道デモンストラーションを行った。
- (7) 各国からの要請に応じ、大会、講習会、審査会等に、剣道、居合道、杖道の専門家を14カ国・地域に29回、合計69名を派遣した。これらは全剣連および国際剣道連盟の派遣による他、招聘国の負担により実施した。
- (8) 全国から寄贈された中古剣道具50組を整備、新品50組、新品竹刀200本に中古剣道着・袴等を加え、外務省人物交流室および在外日本国大使館の協力を得て、インドネシア、ロシア、南アフリカ、セルビア、フィリピンの5か国に贈った。
- (9) 国際的情報発信強化の一環として、スマートホン閲覧のため全面更新された全剣連ホームページの英語版を作成し公開した。剣道、居合道、杖道の文化的、歴史的背景を英語で発信するだけでなく、主催大会、審査会を中心に全剣連の活動を随時発信していく。また国際剣道連盟支援の一環として全剣連費用で国際剣道連盟のホームページを刷新、国際剣道連盟の活動状況についてスマートホンでも閲覧できるようになった。

11. 広報活動ならびに物販事業

- (1) 広報機関誌「剣窓」の誌面内容の充実向上に努め連載「守破離」、「草の根道場から」を継続した。定期購読者拡大を工夫し取り組んだ。「剣窓」編集委員会は毎月1回、年間12回開催。

- (2) 情報小委員会は、全剣連、国際剣道連盟ホームページのリニューアルを実施した。剣道普及キャラクター「ぶしし」の活用を開始した。全日本剣道選手権大会、全日本女子選手権大会、全日本選抜剣道八段優勝大会をソーシャルメディアで中継した。同委員会は年4回開催した。
- (3) 全剣連発行の刊行物、グッズ、DVDなどの頒布に努め、また制作物の改廃を検討して実施した。著作権の維持に努め、利用者に対する使用手続きを徹底し管理に努めた。平成31年(2019年)の剣道カレンダーを制作、頒布した。

1.2. 文化関連事業

- (1) 第17回剣道文化講演会を認定NPO公益法人救急へり病院ネットワーク会長・國松孝次氏を講師として「剣道と私」の演題で実施した。
- (2) 第22回剣道写真コンテストを実施した。

1.3. 資料

- (1) 資料小委員会(東日本)は、資料整理、電子化を実施した。写真・動画資料の保存、世界大会関連資料の収集、女性武道史関連の資料収集なども順次実施した。委員会は2回開催。
- (2) 資料小委員会(西日本)は、「戦前・青年団における剣道の実施状況」をテーマに点在している関係資料収集を進め、報告書を作成した。委員会は2回開催。
- (3) 資料小委員会の東日本、西日本の統合へ向けて準備を開始した。

1.4. 安全・医科学関係

- (1) 「生涯剣道」を念頭に置き、剣道における心身の健康・安全を守るために、剣道障害の予防・診断・治療等に関する情報をホームページ、冊子などで提供し、啓発活動を行った。全日本剣道連盟ホームページにおいて、「剣道と医・科学について」の項目で「剣道医学救急ハンドブック第3版」及び「剣道医学Q&A第3版」の重要項目を掲載した。
- (2) 「熱中症」と「頭部を打撲した際の処置と対策」の教育用資材(スライド)を作成し、教育研修会での安全対策の普及活動の一助とするため、ホームページからダウンロードできるようにした。
- (3) 剣道具の品質の向上・維持、規格の遵守等について安全性の面から検討するとともに、「剣道部及び竹刀安全性検討小委員会」において委員長と幹事が参画し、検討を加えた。
- (4) 強化訓練講習会等に帯同医師を派遣し、医・科学的支援及び指導を行った。
- (5) アンチ・ドーピング委員会との緊密な連携を図ることにより、アンチ・ドーピングのための啓発活動を行った。
- (6) ドーピング防止のための方策および関連する健康管理(コンディショニング)を解説した「剣士のためのアンチ・ドーピングマニュアル」を活用して、指導者、一般剣道愛好家、講習会受講生などに対して積極的に啓発活動を行った。
- (7) 全剣連ホームページ、全剣連刊行誌「剣窓」にドーピング防止に関する記事を定期的に掲載し、積極的に啓発活動を行った。
- (8) 日本アンチ・ドーピング機構(JADA)の協力と日本スポーツ振興センターの助成を得て、全日本選手権大会(男・女)などにおいてドーピング・コントロール(検査管理)を実施した。
- (9) 各都道府県剣道連盟事務局に対し、「選手のためのアンチ・ドーピング8箇条カード」および「アンチ・ドーピング使用可能薬リスト(日ス協作成)」を国体剣道競技参加選手に持たせるよう指導し、「うっかりドーピング」の防止を図った。

- (10) FIK（国際剣道連盟）の居場所情報登録選手に日本選手2名が含まれている。指名選手に対して居場所情報登録を指導し、義務違反の防止を図った。

15. 情報処理関係

- (1) 全剣連登録個人番号検索システムを活用させた。都道府県連盟との業務連携効率化にさらに努めた。
- (2) 高段者（剣道・居合道・杖道）名簿を継続頒布した。

16. 総務・経理関係

- (1) 本年度における監事監査に際し、有限責任あずさ監査法人を補助者として業務委託し、当該監事監査の補助をさせた。
- (2) 日本武道館の休館に伴い、北の丸事務所を九段事務所と同じ靖国九段南ビルに移転した。

17. 表彰事業

- (1) 剣道功労賞・有功賞の表彰（別添3参照）
第24回剣道功労賞・有功賞については、功労賞は、塚本邦英氏、小林三留氏、アランデュカルム氏の3名を選考して12月5日にホテルグランドパレスで贈呈式を行った。また、有功賞には、64名を選考して表彰した。
- (2) 少年剣道教育奨励賞の表彰（別添4参照）
剣道の普及、将来の発展を図るために始めた「少年剣道教育奨励賞」は、15年目を迎え、少年剣道の指導面で地道な活動を重ねている団体・組織を各剣連、関係団体等に対象候補として推薦を求め、257団体を選考して表彰した。
- (3) 敬老の日（9月17日）までの1年間に、新たに90歳を迎えられた剣道・居合道・杖道高段位（七段以上）の方々122名に、これまでの斯道の発展・振興への尽力と功績を称え、祝意を表明するとともに記念品を贈呈した。
- (4) 顕彰状の贈呈
故人に贈られた顕彰状は次のとおりである。
- | | |
|--------------------------|------|
| ①教士八段受有者 | 9名 |
| ②教士七段受有者で、教士取得後20年を経過した者 | 18名 |
| ③剣道の普及・発展に多大の貢献をした者 | 該当なし |

19. 評議員会・理事会・専門委員会等の活動

- (1) 評議員会は2回、理事会は3回、常任理事会は4回開催した。
- (2) 平成30年度の専門委員会は、小委員会を含め、78回開催した。
このほか、各委員会において必要に応じ、随時打ち合わせ開催した。
- (3) 事業調整連絡会議は、7回開催した。
- (4) 称号・段位審査の審査員選考委員会は、2回開催した。

以上

【1】評議員会、理事会等の開催状況について

1. 評議員会の開催について (計2回)

(1) 定時評議員会 平成30年6月21日

(審議事項)

- ① 平成29年度計算書類承認の件
- ② 道場建設資産取崩し及び将来投資のための資産組み換えについて

(報告事項)

- ① 平成29年度事業報告の件
- ② 収支均衡化について

(2) 3月 臨時評議員会 平成30年3月14日

(審議事項)

- ① 定款改定（公益目的支出削除・理事増員）

(報告事項)

- ① 平成31年度事業計画について
- ② 平成31年度収支予算書について
- ③ 平成31年・32年度役員候補者（案）
- ④ 各種規程改定（綱紀・試合審判・役員候補者推薦要領）
- ⑤ ガバナンス問題
- ⑥ 企業協賛
- ⑦ 評議員の辞任
- ⑧ 理事の辞任

2. 理事会の開催状況について (計3回)

(1) 第1回理事会 平成30年6月6日

(審議事項)

- ① 平成29年度事業報告（案）について
- ② 平成29年度財務諸表等（案）及び収支計算書等（案）について
- ③ 定時評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について
- ④ 収支均衡化について
- ⑤ 道場建設資産取崩し及び将来投資のための資産組み換えについて

(報告事項)

- ① 平成30年度剣道有功賞顕彰の推薦について
- ② 平成30年度「少年剣道教育奨励賞」候補推薦について
- ③ 平成30年度監事監査計画について
- ④ 担当常任理事による業務報告

(2) 11月 臨時理事会 平成30年11月2日

(審議事項)

- ① 平成31年度行事日程表 (案)
- ② 平成30年度剣道功労賞・有功賞
- ③ 平成30年度少年剣道教育奨励賞
- ④ 平成31年度予算枠組み
- ⑤ 定款の改正 (案)、規則等の改正及び廃止 (案)
- ⑥ コンプライアンス体制

(報告事項)

- ① 平成30年度上半期収支状況・平成30年度下期予算修正
- ② 第17回剣道文化講演会について
- ③ 平成30年度日本武道協議会武道功労者及び武道優良団体の推薦について
- ④ 評議員、理事の辞任
- ⑤ 担当常任理事による業務報告

(3) 第2回理事会 平成31年3月14日

(審議事項)

- ① 平成31年度事業計画 (案) について
- ② 平成31年度収支予算書 (案) について
- ③ 定款改定・役員候補者推薦実施要領改定
- ④ 各種規程改定 (綱紀・試合審判)

(報告事項)

- ① 平成31年・32年度役員候補者 (案)
- ② ガバナンス問題
- ③ 企業協賛
- ④ 担当常任理事による業務報告

3. 常任理事会

(計4回)

- | | |
|---------|-------------|
| (1) 第1回 | 平成30年 5月30日 |
| (2) 第2回 | 平成30年 9月 1日 |
| (3) 第3回 | 平成30年10月26日 |
| (4) 第4回 | 平成31年 3月13日 |

4. 各専門委員会

- | | |
|--------------|---------|
| (1) 総務委員会 | (3 回) |
| (2) 普及委員会 | (6 回) |
| ① 学校教育部会 | (3 回) |
| (3) 指導委員会 | (3 回) |
| (4) 称号・段位委員会 | (4 回) |

- (5) 試合・審判委員会 (4 回)
- (6) 強化委員会 (1 回)
- (7) 社会体育指導員委員会 (3 回)
- (8) 国際委員会 (4 回)
- (9) 居合道委員会 (4 回)
- (10) 杖道委員会 (4 回)
- (11) 医・科学委員会 (3 回)
 - ① アンチ・ドーピング委員会 (4 回)
- (12) 広報委員会 (4 回)
 - ① 剣窓編集小委員会 (12 回)
 - ② 広報・資料小委員会 (東日本) (2 回)
 - ③ 広報・資料小委員会 (西日本) (3 回)
 - ④ 広報・情報小委員会 (4 回)
- (13) 剣道部及び竹刀安全性検討小委員会 (7 回)

- 5、相談役会 (計1回)
- (1) 第1回 平成30年11月2日 (東京都)
 - ① 平成30年度事業について
 - 平成30年度行事日程表、平成31年度行事日程表 (案)

6. 審議員会 (計2回)
- (1) 第1回 平成30年9月1日 (福岡県)
 - ① 平成30年度事業の概要
 - 平成30年度行事日程表
 - 各種行事の開催県一覧表
 - ② 担当常任理事により事業進捗状況について
 - (2) 第2回 平成31年3月13日 (東京都)
 - ① 平成31年度事業の概要
 - 平成31年度行事日程表
 - ② 平成30年度事業の現況について (担当理事より報告)

7. 綱紀委員会 (1回)

8. その他の会議
- (1) 都道府県事務局長会議 (1回)

平成30年4月28日 (大阪市)

(2) 専務理事・理事長会議 (1回)
平成31年2月14日 (東京都)

(3) 全国組織剣道関係団体連絡会議 (1回)
平成31年3月19日 (東京都)

【2】 役員等の異動について

1. 評議員の辞任

① 実業団：小栗敬太郎 評議員 (平成30年5月26日)

2. 理事の辞任

① 高菜圭一 理事 (平成30年7月31日)

3. 平成30年度中に逝去された役員

① 顧問：小西新右衛門氏 (平成30年 5月 3日逝去)

② 顧問：鴻池祥肇氏 (平成30年12月25日逝去)

③ 相談役：小久保昇治氏 (平成31年 2月12日逝去)

【3】 事務局職員構成

平成31年3月31日現在

	在籍	職員		嘱託	
		男	女	男	女
統括主幹	0	0	0	0	0
主幹	6	3	0	3	0
主幹代理	4	3	1	0	0
職員	18	8	8	2	0
計	28	14	9	5	0

平成30年度行事日程表

一般財団法人全日本剣道連盟
平成31年3月31日

		名 称	開催地	期 日	備考
大 会	主 催	第16回 全日本選抜剣道八段優勝大会	名古屋市	4月15日(日)	
		第66回 全日本都道府県対抗剣道優勝大会	大阪市	4月29日(日)	
		第114回 全日本剣道演武大会	京都市	5月2日(水)～5日(土)	
		第10回 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会	東京都	7月14日(土)	○
		第64回 全日本東西対抗剣道大会	宮城県	9月2日(日)	
		第57回 全日本女子剣道選手権大会	長野市	9月23日(日)	
		第45回 全日本杖道大会	久留米市	10月14日(日)	
	共 催	第53回 全日本居合道大会	水戸市	10月20日(土)	
		第66回 全日本剣道選手権大会	東京都	11月3日(土・祝)	
		第51回 全国教育系大学学生剣道大会	東京都	7月8日(日)～11日(水)	
		平成30年度全日本少年少女武道(剣道)錬成大会	東京都	7月21日(土)～22日(日)	
		第60回 記念全国教職員剣道大会	岸和田市	8月3日(金)	
		平成30年度全国高等学校定時制通信制体育大会第49回剣道大会	東京都	8月6日(月)	
		第65回 全国高等学校剣道大会	伊勢市	8月9日(木)～12日(日)	
主 管	第48回 全国中学校剣道大会	岡山市	8月22日(水)～24日(金)		
	第67回 全国青年剣道大会	東京都	11月10日(土)～11日(日)	○	
	第41回 全国スポーツ少年団剣道交流大会	山口市	31年3月27日(水)～29日(金)		
		第28回 全国高等学校剣道選抜大会	春日井市	31年3月26日(火)～28日(木)	
審 査 会	剣 道	六 段	京都市	4月29日(日)	
		七 段	〃	4月30日(月・祝)	
		八 段	〃	5月1日(火)、2日(水)	
		称号(範士・教士・錬士)	〃	5月6日(日)	
		七 段	名古屋市	5月12日(土)	
		六 段	〃	5月13日(日)	
		七 段	青森市	8月18日(土)	
		六 段	〃	8月19日(日)	
		七 段	福岡市	8月25日(土)	
		六 段	福岡市	8月26日(日)	
		七 段	名古屋市	11月17日(土)	
		六 段	〃	11月18日(日)	
	居 合 道	八 段	東京都八王子市	11月25日(日)	
		七 段	東京都足立区	11月27日(火)、28日(水)	
		八 段	東京都千代田区	11月29日(木)、30日(金)	
		八 段	京都市	5月3日(木)	
		称号(範士・教士・錬士)	〃	5月3日(木)	
		六 段	天童市	6月8日(金)	
	杖 道	六 段	和歌山市	7月6日(金)	
		六 段	東京都江戸川区	11月17日(土)	
		八 段	京都市	5月3日(木)	
		称号(範士・教士・錬士)	〃	5月3日(木)	
		六 段	大阪市	8月24日(金)	
		六 段	東京都八王子市	31年1月17日(木)	
		剣道、居合道、杖道称号「教士」筆記試験	東京都、神戸市、福岡市 4月7日(土)		
			東京都、名古屋市、神戸市、福岡市 11月10日(土)		
		剣道、居合道、杖道称号(教士・錬士)	11月27日(火)		
		第17回 剣道文化講演会	東京都	12月1日(土)	
		第17回 世界剣道選手権大会	韓国・仁川市	9月14日(金)～16日(日)	

備考 ○は、日本スポーツ協会・日本スポーツ振興センター・JOC等の補助金事業。

講	名 称		開催地	期 日	備考
	第53回	東 日 本 中 央 講 習 会	勝浦市	3月31日(土)～4月1日(日)	
	西 日 本 ”	兵庫県	3月31日(土)～4月1日(日)		
第23回	女 子 審 判 講 習 会	勝浦市	5月19日(土)～20日(日)		
第16回	女 子 審 判 法 研 修 会	勝浦市	6月9日(土)～10日(日)		
第17回	女 子 審 判 法 研 修 会	勝浦市	7月7日(土)～8日(日)		
第56回	中 堅 剣 士 講 習 会	奈良市	6月13日(水)～17日(日)		
第28回	剣 道 八 段 研 修 会	日野市	6月21日(木)～24日(日)		
第45回	外 国 人 講 習 会 (審判)	成田市	6月30日(土)～7月1日(日)		
第21回	講師要員(指導法)研修会	大津市	5月26日(土)～27日(日)		
第22回	”	勝浦市	10月13日(土)～14日(日)		
第38回	講師要員(試合・審判)研修会	勝浦市	6月16日(土)～17日(日)		
第39回	”	大津市	12月15日(土)～16日(日)		
第4回	女 子 剣 道 指 導 法 講 習 会	防府市	10月6日(土)～7日(日)		
第5回	”	兵庫県	31年2月23日(土)～24日(日)		
第1回	男 子 強 化 訓 練 講 習 会	勝浦市	11月12日(月)～15日(木)	○	
第2回	”	勝浦市	12月13日(木)～16日(日) —中止	○	
第3回	”	勝浦市	31年1月24日(木)～27日(日)	○	
第4回	”	勝浦市	31年3月13日(水)～16日(土)		
第1回	女 子 強 化 訓 練 講 習 会	勝浦市	11月12日(月)～15日(木)		
第2回	”	勝浦市	12月13日(木)～16日(日) —中止		
第3回	”	勝浦市	31年1月24日(木)～27日(日)		
第4回	”	和歌山市	31年3月6日(水)～9日(土)		
	選抜特別訓練講習会 第七期 第4回1班	勝浦市	10月3日(水)～6日(土)		
	” ” 第4回2班	東京都	12月20日(木)～23日(日)		
	” ” 第6回	勝浦市	31年3月13日(水)～16日(土) —中止		
	女子選抜特別訓練講習会 第二期 第1回	勝浦市	4月19日(木)～22日(日)		
	” ” 第2回1班	奈良市	8月22日(水)～25日(土)		
	” ” 第2回2班	東京都	12月6日(木)～9日(日)		
	剣 道 研 究 会	北本市	31年2月16日(土)～17日(日)		
合 同 稽 古 会	(全 国)	東京都	毎月1回		
	(北 海 道)	札幌市4/7(土)、札幌市6/9(土)、旭川市9/8(土)中止、—— 札幌市10/13(土)、札幌市11/10(土)、札幌市31年2/2(土)			
	(東 北)	岩沼市6/9(土)、花巻市9/22(土)、 [東北女子合同] 名取市10/6(土)			
	(北 信 越)	金沢市5/26(土)、上水内郡9/15(土)、富山市12/8(土)			
	(東 海)	名古屋市	4/7(土)、6/2(土)、7/7(土)、8/4(土)、 9/1(土)、10/6(土)、31年2/2(土) 藤枝市3/2(土)		
	(近 畿)	京都市	4/7(土)、6/30(土)、8/4(土)、10/6(土)、 12/1(土)、H31.2/23(土)		
	(中国・四国)	広島市4/7(土)、松山市6/16(土)、岡山市7/7(土)中止、高松市9/1(土) 広島市10/20(土)、美馬市12/1(土)、岡山市31年2/9(土)、高知市3/16(土)			
	(九 州)	福岡市5/26(土)、菊池市7/7(土)中止、福岡市9/15(土)、 菊池市11/10(土)、福岡市31年1/12(土)、菊池市3/2(土)			
居 合 道 杖 道	地 区 講 習 会	天童市	6月9日(土)～10日(日)		
	”	和歌山市	7月7日(土)～8日(日)		
	第45回 中 央 講 習 会	京都市	9月8日(土)～9日(日)		
	第27回 中 央 講 習 会	勝浦市	6月2日(土)～3日(日)		
地 区 講 習 会	”	大阪市	8月25日(土)～26日(日)		
	”	東京都八王子市	31年1月18日(金)～19日(土)		
剣 道 社 会 体 育 指 導 員 養 成 講 習 会	第117回 [初級専門科目]	札幌市	6月29日(金)～7月1日(日)		
	第118回 ”	岐阜県	10月19日(金)～21日(日)		
	第119回 ”	東京都	10月26日(金)～28日(日)		
	第120回 ”	佐賀県	12月14日(金)～16日(日)		
	第121回 ”	徳島県	31年2月22日(金)～24日(日)		
	第18回 ”(学生)	東京都	9月22日(土)～23日(日)		
	第19回 ”(学生)	勝浦市	31年1月19日(土)～20日(日)		
	第49回 [中級専門科目]	勝浦市	9月7日(金)～9日(日)		
	第50回 ”	大津市	31年3月15日(金)～17日(日)		
	第29回 [上級]	勝浦市	31年2月1日(金)～3日(日)		
	第30回 ”	大津市	31年3月8日(金)～10日(日)		
	第92回 [初級更新]	東京都	6月16日(土)		
	第93回 ”	北海道	6月30日(土)		
	第94回 ”	岐阜県	10月20日(土)		
	第95回 ”	佐賀県	12月15日(土)		
	第96回 ”	徳島県	31年2月23日(土)		
	第64回 [中級更新]	東京都	6月17日(日)		
	第65回 ”	勝浦市	9月8日(土)		
	第66回 ”	大津市	31年3月16日(土)		
	第38回 [上級更新]	東京都	6月17日(日)		
第39回 ”	勝浦市	31年2月2日(土)			
第40回 ”	大津市	31年3月9日(土)			

No.	開催期日	開催剣連	科 目			会 場
			指導法	審判法	剣道形	
1	4月7日(土)～8日(日)	長野			剣道形	4/7(土)安曇野市穂高総合体育館 4/8(日)安曇野市堀金総合体育館
2	4月7日(土)	山口		審判法		維新百年記念公園スポーツ文化センター「アリーナ」
3	4月8日(日)	北海道札幌市		審判法		北海道立総合体育センター
4	4月8日(日)	青森		審判法		みちぎんどリームスタジアム
5	4月15日(日)	群馬		審判法		ぐんま武道館
6	5月13日(日)	長崎			剣道形	シーハット大村
7	5月27日(日)	岐阜	指導法			大垣市武道館
8	6月2日(土)	東京		審判法	剣道形	墨田区総合体育館武道場
9	6月9日(土)～10日(日)	沖縄	指導法		剣道形	沖縄県立武道館第二錬成棟
10	6月16日(土)	神奈川		審判法		神奈川県立武道館
11	6月16日(土)	福岡	指導法			福岡武道館
12	6月17日(日)	熊本		審判法		浜線健康パーク
13	6月23日(土)	宮城		審判法		大郷町フラップ大郷21
14	6月23日(土)～24日(日)	鹿児島		審判法	剣道形	鹿児島県総合体育センター体育館
15	6月24日(日)	静岡		審判法		静岡県剣道連盟武道館「養浩館」
16	6月24日(日)	佐賀		審判法		佐賀県総合体育館「剣道場」
17	7月8日(日)	千葉	指導法		剣道形	千葉県武道館
18	7月14日(土)～15日(日)	愛媛		審判法	剣道形	愛媛県武道館剣道場
19	9月1日(土)～2日(日)	山梨	指導法		剣道形	山梨県立小瀬武道館
20	9月9日(日)	埼玉	指導法	審判法		さいたま市大宮武道館
21	9月15日(土)	愛知	指導法			名古屋市中スポーツセンター
22	9月15日(土)～16日(日)	島根	指導法		剣道形	島根県立武道館
23	9月15日(土)～16日(日)	宮崎	指導法	審判法		KIRISHIMA ツワブキ武道館
24	9月24日(祝)	鳥取		審判法		鳥取県立武道館
25	9月24日(祝)	学生剣連		審判法		県営富山武道館
26	10月7日(日)	滋賀			剣道形	滋賀県立武道館
27	10月14日(日)	富山		審判法		県営富山武道館
28	10月14日(日)	奈良		審判法		ならでん武道場
29	10月14日(日)	兵庫		審判法		神戸市立王子スポーツセンター
30	10月7日(日)	岡山	指導法			岡山武道館
31	10月13日(土)～14日(日)	広島		審判法	剣道形	福山市体育館
32	10月14日(日)	高知		審判法		南国市立スポーツセンター
33	10月21日(日)	北海道旭川市		審判法		旭川市大成市民センター体育館
34	10月21日(日)	徳島	指導法		剣道形	ソイジョイ武道館
35	10月27日(土)	岩手			剣道形	岩手県営武道館
36	10月28日(日)	和歌山		審判法		和歌山市立市民体育館
37	11月10日(土)～11日(日)	新潟	指導法	審判法		黒埼地区総合体育館
38	11月11日(日)	山形	指導法			山形県総合運動公園剣道場
39	11月11日(日)	石川			剣道形	石川県立武道館剣道場
40	11月11日(日)	福井			剣道形	福井県立武道館
41	11月11日(日)	三重	指導法			津市営久居体育館
42	11月18日(日)	大分		審判法		別府市民体育館
43	11月25日(日)	福島	指導法			郡山市東部体育館
44	12月2日(日)	秋田	指導法			秋田県立武道館
45	12月2日(日)	京都		審判法		京都市武道センター
46	31年2月2日(土)	茨城		審判法		茨城県武道館
47	31年3月2日(土)	大阪			剣道形	大阪市中央体育館サブアリーナ

平成30年度全国剣道指導者研修会

共 催 講 習 会	期 日	学校連盟	講習科目			会 場
	10月13日(土)～14日(日)	九州地区	指導法			佐賀県総合体育館(佐賀県佐賀市)
	11月17日(土)～18日(日)	九州地区	指導法			沖縄県立武道館(沖縄県那覇市)
	11月24日(土)～25日(日)	中国地区	指導法			サントピア総社(岡山県総社市)
	12月8日(土)～9日(日)	関東地区	指導法			茨城県立武道館(茨城県水戸市)
31年1月19日(土)～20日(日)	近畿地区	指導法			ビックウェーブ(和歌山県和歌山市)	

平成30年度 行事日程表
後援大会

一般財団法人 全日本剣道連盟
平成31年3月31日

	大会	開催地	期 日
1	平成30年度全国税関柔剣道大会	横浜市	4月21日(土)
2	第60回 関東実業団剣道大会	東京都千代田区	6月3日(日)
3	第40回 全日本高齢者武道大会	東京都千代田区	6月4日(月)
4	第57回 西日本勤労者剣道大会	高知市	6月10日(日)
5	第52回 全日本女子学生剣道選手権大会 第66回 全日本学生剣道選手権大会	千代田区	7月7日(土) 7月8日(日)
6	第60回 東北・北海道対抗剣道大会	天童市	7月22日(日)
7	第53回 全国道場少年剣道大会	東京都千代田区	7月24日(火)～25日(水)
8	平成30年度玉竜旗高校剣道大会	福岡市	7月24日(火)～29日(日)
9	第68回 日光剣道大会	日光市	8月18日(土)
10	第53回 全国高等専門学校剣道大会	久留米市	8月22日(水)～23日(木)
11	第13回 全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会	大阪市	9月16日(日)
12	第61回 全日本実業団剣道大会	東京都千代田区	9月17日(月祝)
13	第43回 全国道場小中学生剣道選手権大会(男子) 第36回 全国道場小中学生剣道選手権大会(女子)	松山市	9月23日(日)
14	第60回 全国郵政剣道大会	仙台市	9月23日(日)
15	第50回 全日本官公庁剣道大会	東京都足立区	10月20日(土)
16	第51回 NTTグループ全国剣道大会	東京都江東区	10月21日(日)
17	第29回 JRグループ剣道大会	大阪市	10月26日(金)
18	第18回 国土交通大臣杯剣道大会	東京都中央区	10月27日(土)
19	第66回 全日本学生剣道優勝大会(団体戦)	大阪市	10月28日(日)
20	第31回 全国健康福祉祭剣道交流大会	富山県砺波市	11月3日(祝・土)～6日(火)
21	第37回 全日本女子学生剣道優勝大会	春日井市	11月11日(日)
22	第63回 全日本なぎなた選手権大会	浦安市	12月2日(日)
23	第33回 全日本学生居合道大会	京都市	12月2日(日)
24	第43回 全国自衛隊剣道大会	東京都練馬区	31年2月23日(土)～24日(日)
25	第22回 全日本実業団女子剣道大会	東京都足立区	31年3月2日(土)
26	第48回 魁星旗争奪全国高校選抜剣道大会 第35回 魁星旗争奪全国高校女子剣道大会	秋田市	31年3月29日(木)～31日(土)
27	第60回 全国選抜少年剣道錬成大会	水戸市	31年3月31日(日)

剣道・居合道・杖道各種講習会実施状況

平成31年3月31日 現在

剣道講習会	開催地	期 日	参加者
第53回 東日本中央講習会	東京都	30年3月31日(土)～4月1日(日)	67名
第53回 西日本中央講習会	兵庫県	30年3月31日(土)～4月1日(日)	54名
第23回 女子審判講習会	勝浦市	5月19日(土)～20日(日)	66名
第16回 女子審判法研修会	勝浦市	6月9日(土)～10日(日)	26名
第17回 女子審判法研修会	勝浦市	7月7日(土)～8日(日)	29名
第56回 中堅剣士講習会	奈良市	6月13日(水)～17日(日)	60名
第21回 講師要員(指導法)研修会	大津市	5月26日(土)～27日(日)	20名
第22回 "	勝浦市	10月13日(土)～14日(日)	22名
第38回 講師要員(試合・審判)研修会	勝浦市	6月16日(土)～17日(日)	24名
第39回 "	大津市	12月15日(土)～16日(日)	24名
第28回 剣道八段研修会	日野市	6月21日(木)～24日(日)	24名
第45回 外国人講習会(審判)	成田市	6月30日(土)～7月1日(日)	49名
第4回 女子剣道指導法講習会	防府市	10月6日(土)～7日(日)	41名
第5回 "	兵庫県	31年2月23日(土)～24日(日)	53名

その他の剣道講習会および研究会	開催地	期 日	参加者
第1回 男子強化訓練講習会	勝浦市	11月12日(月)～15日(木)	24名
第2回 "	勝浦市	12月13日(木)～16日(日)	中止
第3回 "	勝浦市	31年1月24日(木)～27日(日)	25名
第4回 "	勝浦市	31年3月13日(水)～16日(土)	21名
第1回 女子強化訓練講習会	勝浦市	11月12日(月)～15日(木)	25名
第2回 "	勝浦市	12月13日(木)～16日(日)	中止
第3回 "	勝浦市	31年1月24日(木)～27日(日)	25名
第4回 "	和歌山市	31年3月6日(水)～9日(土)	24名
選抜特別訓練講習会 第七期 第4回	勝浦市	10月3日(水)～6日(土)	27名
" " 第5回	東京都	12月20日(木)～23日(日)	28名
" " 第6回	勝浦市	31年3月13日(水)～16日(土)	中止
女子選抜特別訓練講習会 第二期 第1回	勝浦市	4月19日(木)～22日(日)	50名
" " 第2回	奈良市	8月22日(水)～25日(土)	23名
" " 第3回	東京都	12月6日(木)～9日(日)	25名
剣道研究会	北本市	31年2月16日(土)～17日(日)	65名

役員・研究員含む

居合道講習会	開催地	期 日	参加者
地区講習会	天童市	6月9日(土)～10日(日)	431名
"	和歌山市	7月7日(土)～8日(日)	328名
第45回 中央講習会	京都市	9月8日(土)～9日(日)	102名

杖道講習会	開催地	期 日	参加者
第27回 中央講習会	勝浦市	6月2日(土)～3日(日)	74名
地区講習会	大阪市	8月25日(土)～26日(日)	363名
"	東京都八王子市	31年1月18日(金)～19日(土)	324名

剣道社会体育指導員養成講習会	開催地	期 日	受講者	認定者	条件付	
初級	第117回 [初級専門科目]	札幌市	6月29日(金)～7月1日(日)	29名	29名	0名
	第118回 "	岐阜県	10月19日(金)～21日(日)	29名	29名	0名
	第119回 "	東京都	10月26日(金)～28日(日)	146名	146名	0名
	第120回 "	佐賀県	12月14日(金)～16日(日)	47名	46名	1名
	第121回 "	徳島県	31年2月22日(金)～24日(日)	52名	52名	0名
	第18回 "(学生)	東京都	9月22日(土)～23日(日)	41名	41名	0名
	第19回 "(学生)	勝浦市	31年1月19日(土)～20日(日)	69名	69名	0名
中級	第49回 [中級専門科目]	勝浦市	9月7日(金)～9日(日)	65名	65名	0名
	第50回 "	大津市	31年3月15日(金)～17日(日)	30名	30名	0名
上級	第29回 [上級]	勝浦市	31年2月1日(金)～3日(日)	22名	20名	2名
	第30回 "	大津市	31年3月8日(金)～10日(日)	29名	23名	3名

剣道社会体育指導員養成講習会		開催地	期 日	受講者	認定者	条件付
更新講習会	第 92回 [初 級 更 新]	東京都	6月16日(土)	156名	156名	
	第 93回 "	北海道	6月30日(土)	39名	39名	
	第 94回 "	岐阜県	10月20日(土)	78名	78名	
	第 95回 "	佐賀県	12月15日(土)	47名	47名	
	第 96回 "	徳島県	31年2月23日(土)	64名	64名	
	第 64回 [中 級 更 新]	東京都	6月17日(日)	61名	61名	
	第 65回 "	勝浦市	9月8日(土)	16名	16名	
	第 66回 "	大津市	31年3月14日(土)	50名	50名	
	第 38回 [上 級 更 新]	東京都	6月17日(日)	75名	75名	
	第 39回 "	勝浦市	31年2月2日(土)	14名	14名	
	第 40回 "	大津市	31年3月9日(土)	82名	82名	

No.	全剣連後援 剣道講習会	県 名	開催期日	希望種目			参加者
				指導法	審判法	剣道形	
1	"	長野	4月7日(土)～8日(日)			剣道形	71名
2	"	山口	4月7日(土)		審判法		150名
3	"	北海道札幌市	4月8日(日)		審判法		213名
4	"	青森	4月8日(日)		審判法		174名
5	"	群馬	4月15日(日)		審判法		178名
6	"	長崎	5月13日(日)			剣道形	132名
7	"	岐阜	5月27日(日)	指導法			137名
8	"	東京	6月2日(土)		審判法	剣道形	65名
9	"	沖縄	6月9日(土)～10日(日)	指導法		剣道形	122名
10	"	神奈川	6月16日(土)		審判法		111名
11	"	福岡	6月16日(土)	指導法			97名
12	"	熊本	6月17日(日)		審判法		113名
13	"	宮城	6月23日(土)		審判法		62名
14	"	鹿児島	6月23日(土)～24日(日)		審判法	剣道形	150名
15	"	静岡	6月24日(日)		審判法		148名
16	"	佐賀	6月24日(日)		審判法		121名
17	"	千葉	7月8日(日)	指導法		剣道形	97名
18	"	愛媛	7月14日(土)～15日(日)		審判法	剣道形	106名
19	"	山梨	9月8日(土)～9日(日)	指導法		剣道形	216名
20	"	埼玉	9月9日(日)	指導法	審判法		91名
21	"	愛知	9月15日(土)	指導法			80名
22	"	島根	9月15日(土)～16日(日)	指導法		剣道形	87名
23	"	宮崎	9月15日(土)～16日(日)	指導法	審判法		115名
24	"	鳥取	9月24日(祝)		審判法		60名
25	"	学生剣連	9月24日(祝)		審判法		71名
26	"	滋賀	10月7日(日)			剣道形	61名
27	"	富山	10月14日(日)		審判法		73名
28	"	奈良	10月14日(日)		審判法		95名
29	"	兵庫	10月14日(日)		審判法		23名
30	"	岡山	10月7日(日)	指導法			116名
31	"	広島	10月13日(土)～14日(日)		審判法	剣道形	165名
32	"	高知	10月14日(日)		審判法		54名
33	"	北海道旭川市	10月21日(日)		審判法		81名
34	"	徳島	10月21日(日)	指導法		剣道形	77名
35	"	岩手	10月27日(土)			剣道形	104名
36	"	和歌山	10月28日(日)		審判法		95名
37	"	新潟	11月10日(土)～11日(日)	指導法	審判法		71名
38	"	山形	11月11日(日)	指導法			53名
39	"	石川	11月11日(日)			剣道形	80名

No.	全剣連後援 剣道講習会	県名	開催期日	希望種目			参加者
				指導法	審判法	剣道形	
40	〃	福井	11月11日(日)			剣道形	66名
41	〃	三重	11月11日(日)	指導法			61名
42	〃	大分	11月18日(日)		審判法		100名
43	〃	福島	11月25日(日)	指導法			120名
44	〃	秋田	12月2日(日)	指導法			57名
45	〃	京都	12月2日(日)		審判法		95名
46	〃	茨城	31年2月2日(土)		審判法		103名
47	〃	大阪	31年3月2日(土)			剣道形	44名

平成30年度 全国剣道指導者研修会

共催講習会	全国剣道指導者研修会	主催剣連	期日	講習課目			参加者
	九州地区	学校連盟	10月13日(土)～14日(日)	指導法			77名
	九州地区	学校連盟	11月17日(土)～18日(日)	指導法			52名
	中国地区	学校連盟	11月24日(土)～25日(日)	指導法			80名
	関東地区	学校連盟	12月8日(土)～9日(日)	指導法			83名
	近畿地区	学校連盟	31年1月19日(土)～20日(日)	指導法			77名

平成30年11月3日
一般財団法人全日本剣道連盟

平成30年度（第24回）
剣道功労賞受賞者

塚本邦英（つかもと くにひで）

東京都

（昭和3年1月15日生 90歳） 剣道範士八段
元全日本剣道連盟 常任理事・理事、 関東学生剣道連盟 顧問
元東京都剣道連盟 理事・常任理事・審議員
板橋区剣道連盟 名誉会長

昭和20年長崎県立旧制島原中学卒業後、日本大学進学。大学時代は主将として大会に出場し活躍される。

東京油槽倉庫株式会社取締役として仕事に従事され、各種大会に選手として出場されるなど精進された。東京都剣道連盟では、平成3年より平成17年まで理事・常任理事・審議員を歴任される。全日本剣道連盟では常任理事を平成7年より10年まで務められ、普及委員として剣道普及に尽力された。

小林三留（こばやし みつる）

大阪府

（昭和12年9月17日生 81歳）
元大阪府警察剣道師範 剣道範士八段
元全日本剣道連盟 審議員
大阪府剣道連盟 顧問（元 常任理事・専務理事・副会長）

昭和32年岡山県鏡野高校卒業後、大阪府警察に奉職される。剣道特錬生となり、全日本選手大会・警察大会・世界剣道選手権大会等に出場されるなど活躍された。特に、第1回世界剣道選手権（昭和45年）は個人優勝、また、剣道八段大会においても平成6・8年と優勝されるなど、好成績を修められ、若手剣士の憧れの存在となられており、剣道普及に貢献されている。

Alain DUCARME (アラン デュカルム) 国際・ベルギー

(1944年12月20日生 73歳)

元国際剣道連盟 副会長

剣道錬士七段・杖道四段

元ヨーロッパ剣道連盟会長

1960年より武道に出会い、柔道を始め、空手も精進する。1976年膝を痛めたことから、剣道を始めることとなる。

1980年ヨーロッパ剣道連盟の事務総長になり1984年に会長に就任。以後、2017年までの33年間会長に就任され、ヨーロッパ剣道をまとめられた功績は大きい。また、国際剣道連盟副会長に1991年より就任され2017年まで務められた。その間、剣道八段審査を受審されるなど、稽古に励まれている。

2008年には秋の外国人叙勲において、剣道の普及と振興に寄与されたとの功労概要により旭日小綬章を受賞されており、剣道の普及振興に貢献されている。

以上 3 名

平成30年度 第24回剣道有功賞 受賞者

一般財団法人 全日本剣道連盟

平成30年11月3日

NO	氏名	推薦団体名	年齢	住所	備考
1	清水 陸	北海道	76歳	留萌市錦町	留萌剣道連盟会長
2	阿部英明	北海道	75歳	砂川市東2条南	北海道剣道連盟名誉会員
3	外崎勝彦	青森	71歳	弘前市中野	弘前剣道連盟相談役
4	木内直幹	秋田	77歳	能代市追分町	秋田県剣道連盟副会長
5	渡部嘉彦	山形	76歳	米沢市春日	米沢市剣道連盟顧問
6	佐藤正明	岩手	78歳	奥州市江刺区田原	岩手県剣道連盟高齢剣友会夢想寿会会長
7	千葉克彦	宮城	74歳	仙台市泉区高森	宮城県剣道連盟副会長
8	森 栄一	福島	78歳	郡山市富久山町福原	東北学生剣道連盟副会長
9	古谷 勲	茨城	74歳	守谷市大柏	茨城県剣道連盟副会長
10	野澤龍之	茨城	73歳	水戸市双葉台	水戸地区剣道連盟会長
11	齋藤幸一	栃木	71歳	鹿沼市府所町	栃木県剣道連盟副会長
12	笠井秀昭	群馬	80歳	高崎市江木町	群馬県剣道連盟参与
13	江野祐太郎	埼玉	78歳	松山市本町	埼玉県剣道連盟評議員
14	川下紘生	埼玉	80歳	蓮田市西新宿	久喜剣道連盟参与
15	小名木幹郎	東京	76歳	八王子市城山手	元江東区剣道連盟会長
16	吉田福司	東京	79歳	江東区三好	元品川区剣道連盟会長
17	塚越美智子	東京	81歳	目黒区八雲	目黒区剣道連盟会長
18	丹藤武雄	東京	75歳	多摩市豊ヶ丘	西東京剣道連盟参与
19	三橋啓一郎	千葉	79歳	成田市田町	成田剣道連盟顧問
20	篠塚友孝	千葉	76歳	香取市佐原	香取剣道連盟顧問
21	靱山孝明	神奈川	70歳	横浜市瀬谷区	神奈川県剣道連盟事務局長
22	小林三郎	神奈川	76歳	横浜市磯子区	元横浜市剣道連盟副会長
23	内田博夫	山梨	79歳	北杜市須玉町	北杜市剣道連盟顧問
24	藤田惣松	新潟	87歳	新潟市江南区	新潟県高齢剣友会顧問
25	大橋靖弘	石川	76歳	金沢市湖陽	石川県剣道連盟顧問
26	室崎 司	富山	77歳	高岡市大坪町	元富山県剣道連盟副会長
27	今富満彦	福井	72歳	福井市運動公園	福井県学校剣道連盟副会長
28	谷川 堯	長野	94歳	上田市舞田	元更埴支部坂城町剣道連盟会長
29	村木昌弘	静岡	71歳	浜松市中区	元静岡県剣道連盟副会長、専務理事
30	内田武夫	愛知	78歳	弥富市東中地	愛知県剣道連盟副会長
31	浅井善七	愛知	93歳	安城市相生町	元愛知県剣道連盟理事
32	日下部守富	岐阜	81歳	下呂市御厩野	飛騨地区剣道連盟会長

NO	氏名	推薦団体名	年齢	住所	備考
33	中村忠文	三重	75歳	南牟婁郡御浜町	三重県剣道連盟紀南支部長
34	幡川良男	滋賀	78歳	近江八幡市堀上町	近江八幡市剣道連盟副会長
35	川端達夫	京都	75歳	京都市左京区	全日本学生剣道連盟理事
36	清水秀雄	京都	75歳	京都市上京区	京都府剣道道場連盟理事
37	畠山左千夫	大阪	78歳	柏原市大泉	大阪府剣道連盟代議員
38	辻秀樹	大阪	71歳	箕面市桜井	箕面市剣道協会会長
39	武正行	大阪	71歳	枚方市村野東町	枚方市剣道連盟会長
40	飯田初治	奈良	72歳	奈良市西登美ヶ丘	奈良県剣道連盟顧問
41	伊澤章	兵庫	82歳	伊丹市西野	兵庫県学校剣道連盟参与
42	尾崎好弘	兵庫	79歳	神戸市兵庫区	元兵庫県剣道連盟副会長
43	島津仙太郎	兵庫	91歳	神戸市中央区	葺合少年剣友会会長
44	福島祐紀洋	岡山	73歳	津山市椿高下	元岡山県剣道連盟常務理事
45	高橋征四郎	広島	75歳	広島市東区	広島県剣道連盟顧問
46	合田信雄	山口	86歳	下松市潮音町	下松市剣道連盟相談役
47	林芳雄	鳥取	75歳	東伯郡北栄町	鳥取県剣道道場連盟顧問
48	伊藤善章	島根	77歳	松江市比津が丘	島根県剣道連盟顧問
49	三木建二	香川	76歳	高松市太田下町	香川県剣道連盟監事
50	三浦公義	愛媛	76歳	四国中央市寒川町	愛媛県剣道連盟名誉会長
51	岩井数猪	高知	75歳	長岡郡本山町	高知県嶺北剣道連盟会長
52	中尾正輝	徳島	75歳	徳島市新浜本町	徳島県剣道連盟審議員
53	大音善照	福岡	80歳	筑紫野市原	福岡県剣道連盟審議員
54	緑川紀彦	福岡	78歳	飯塚市西町	福岡県剣道連盟監事
55	幸松昭雄	佐賀	72歳	佐賀市多布施	元佐賀県剣道連盟事務局長
56	山下伊三郎	長崎	77歳	佐世保市江迎町	元佐世保剣道協会副会長
57	財津直司	大分	84歳	日田市東町	大分県剣道連盟相談役
58	前田泰良	熊本	71歳	合志市須屋	熊本県剣道連盟副会長
59	菅原直雄	宮崎	90歳	延岡市北方町	元延岡市北方町剣道連盟支部長
60	澤公雄	鹿児島	90歳	霧島市国分広瀬	元鹿児島県剣道連盟評議員
61	安富徳光	沖縄	75歳	名護市為又	沖縄県剣道連盟副会長
62	廣永茂樹	全日本学生	76歳	板橋区上板橋	関東学生剣道連盟副会長
63	小倉肇	全日本学生	74歳	岡山市北区	中四国学生剣道連盟副会長
64	小島禮三郎	全日本道場	77歳	諫早市日の出町	全日本剣道道場連盟評議員

平成30年度 少年剣道教育奨励賞 受賞団体

別添4

平成30年度 1

一般財団法人 全日本剣道連盟

平成30年11月3日

	1北海道	2青森	3秋田	4山形	5岩手	6宮城	7福島	8茨城	
1	颯勇剣志会	剣道道場 青森絃武館	八郎瀉剣道スポーツ少年団	長沼剣道スポーツ少年団	盛岡西警察署	尚武殿一森山道場	瀬上剣友会スポーツ少年団	菅谷少年剣友会	
2	音更柳町剣道少年団	南部少年剣士隊		大倉剣道スポーツ少年団	もりにし剣道教室	須江剣道スポーツ少年団	平野少年剣道クラブ	水海道剣道教室	
3	すずらん			松山剣道スポーツ少年団	山田斉心館	東向陽台剣友会	磐崎剣友会	吾妻剣道スポーツ少年団	
4	剣道スポーツ少年団			中川剣道スポーツ少年団		高砂剣道教室	高坂剣友会	那珂湊剣道若汐会	
5	平和剣友会						郡山北剣士会	茨城菁莪館道場	
6	北辰剣道会							日鉦斯道館	
7	三石翔武館							緑岡少年剣友会	
8	幌加内町							多賀剣道スポーツ少年団	
9	剣道スポーツ少年団							谷田部少年剣友会	
10	ニセコ剣道連盟							結城尚武館	
11								戸頭剣友会	
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	8	2	1	4	2	4	5	11	

	9栃木	10群馬	11埼玉	12東京	13千葉	14神奈川	15山梨
1	宇都宮市立城山東	名和剣道教室	松原剣道スポーツ少年団	二葉剣友会	若葉剣友会	みつわ台剣友会	船津剣道スポーツ少年団
2	小学校剣道教室	額部剣道教室	桜南剣友会	東吾嬭剣友会	向陽台剣道会	鶴沢剣友会	楡形剣道スポーツ少年団
3	富屋剣道クラブ	昭和剣道スポーツ少年団	春日部剣真会	八柱学園剣道部	玉川警察署少年柔剣道	草野剣友会	致道館
4	スポーツ少年団	新治少年剣道クラブ	宮代剣友会	新田剣友会	クラブ	浜町剣正会	
5		武徳会	栗橋雄武館道場	上沼田剣友会	竹の塚警察署少年剣道会	葵剣友会	
6			埼玉少年剣道部	落合剣友会	小笠原少年柔剣道親睦会	矢切剣友会	鎌倉 尚武館道場
7			狭山台剣友会	南中野剣道倶楽部	赤坂警察署少年剣道会	桜台剣友会	揚武館 伊勢原道場
8			吉見町剣道連盟	花見堂剣友会	世田谷警察署少年柔剣道	茂原武道館	大和市中心中央剣友会
9			剣道 緑ノ風	南山幼少年剣道教室	若葉会	小櫃剣友会	希望ヶ丘剣和会
10			養心館	雪谷少年剣道クラブ	警視庁池上警察署	柏第三剣友会	栄剣成会
11			岩槻剣友会	金沢剣道会	少年剣道部	柴崎少年剣友会	剣志会
12			みはし剣道クラブ	雅心剣友会	警視庁府中警察署	緑が丘剣友会	厚木剣道クラブ
13			熊谷市剣道スポーツ少年団	清瀬市剣道連盟	少年剣道部	志津剣道同好会	
14			東入間警察署	清瀬第八小学校稽古会場	警視庁福生警察署	白浜町剣道クラブ	
15			少年剣道教室	狛江剣道同志会	少年剣道部	スポーツ少年団	
16				原町田剣友会	警視庁青梅警察署		
17				玉流剣道会	少年剣道部		
18				屋城少年剣道会	警視庁立川警察署		
19				西東京市剣友会	少年剣道部		
20				谷戸第二小学校剣道教室			
計	2	5	14	30	14	12	3

	16新潟	17石川	18富山	19福井	20長野	21静岡	22愛知	23岐阜	24三重
1	両川剣道クラブ	内日角剣道教室	西条剣道スポーツ少年団	龍昇館道場	山形村少年剣道クラブ	伊豆山剣道学園	王子剣志会	鵜沼第一剣道少年団	常盤剣友会
2		国府少年剣道教室	B & G 砺波	剣誠館スポーツ少年団	南長野剣道少年団	沼津桜華剣道少年団	江南警察署少年剣道教室	高富剣道スポーツ少年団	
3		此花少年剣道教室	剣道スポーツ少年団		飯綱剣道教室	浮島剣道春山	北名古屋市剣道連盟	日吉剣道スポーツ少年団	
4						大浜剣友会	清栄会	春里剣道スポーツ少年団	
5						将武館	新道会	宮少年剣道クラブ	
6						浜松東部剣友会	南陽剣道クラブ	瑞浪剣友会ジュニア	
7							吉田剣道教室		
8							形埜剣道教室		
9							幸田少年剣志会		
10							若園剣志会		
11							藤岡少年剣道クラブ		
12							錬心会		
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	1	3	2	2	3	6	11	6	1

	25滋賀	26京都	27大阪	28奈良	29和歌山	30兵庫	31岡山	32広島	33山口
1	彦根剣道スポーツ少年団	峰山少年剣道教室	天王寺剣友会	大福剣道クラブ	和歌山 砂山少年剣友会	須磨剣友会	鯉山剣道スポーツ少年団	剣志会	豊田剣道スポーツ少年団
2	水口剣道スポーツ少年団	榎島剣道スポーツ少年団	北辰館千葉道場	橿原市剣道連盟		垂水睦会	平福剣道スポーツ少年団	鈴張剣道クラブ	扱善剣道スポーツ少年団
3	剣徳会	宇治田原剣志会	第二機動隊			兵庫少年こだま会	長船第一剣道スポーツ少年団	広島三篠剣道クラブ	中関少年剣友会
4	膳所体育振興		少年剣道推進会			西宮中央剣道会	津山一宮剣道教室	安剣道教室	徳山暁剣道少年団
5	スポーツ少年団膳所剣友会		彊心館道場			誠心剣修会		亀山剣道クラブ	
6	東レ明道館		都島少年剣道推進会			高砂春風館		福木剣友会	
7			黒山警察少年剣道推進会			明石市剣道連盟		牛田新町剣道クラブ	
8			柏原警察署			明石剣道教室		梅林剣道教室	
9			少年剣道推進会			社剣道スポーツ少年団			
10			箕面警察署			聖武会			
11			少年剣道推進会			赤穂剣道少年団			
12			羽曳野警察			朝日新聞剣道倶楽部			
13			少年剣道推進会			川西市剣道協会道場			
14			希望の杜 一心会			尚勇館			
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	4	3	10	2	1	13	4	8	4

	34鳥 取	35島 根	36香 川	37愛 媛	38高 知	39徳 島	40福 岡	41佐 賀	42長 崎
1	就将剣道スポーツ少年団	島根県立武道館	古高松南	常盤剣道会	黒潮剣道スポーツ少年団	半田剣道教室	奈多剣道少年団	神野少年剣友会	長崎稲武会
2		剣道教室	剣道スポーツ少年団	砥部剣道会スポーツ少年団	山奈少年剣道教室	那賀川剣道教室	有田剣心会	浜玉松武館	西里少年剣道会
3		布施少年剣道クラブ		石城剣道会		わかあゆ会	大川少年剣友会	若宮少年剣道クラブ	江剣会
4							御笠剣友会		
5							雷山剣道スポーツ少年団		
6							豊前剣道 養心館		
7							尾倉少年剣道クラブ		
8							福岡神武館		
9							小倉正剣会		
10							善導寺青少年剣道同志会		
11							東野少年剣道教室		
12							上陽町少年剣道クラブ		
13							碓井青少年剣道育成会		
14							徳風館		
15							田川剣友会		
16									
17									
18									
19									
20									
計	1	2	1	3	2	2	14	3	3

	43大 分	44熊 本	45宮 崎	46鹿児島	47沖 縄	48道場連盟		
1	誠武館	洗心会	明和剣友クラブ	野田剣道スポーツ少年団	津嘉山・豊見城	土崎道場 (秋田)		
2	桂林少年剣士会	二江少年剣道クラブ		しげとみ	少年剣道クラブ	臼井剣士会 (新潟)		
3		西原村少年剣道教室		剣道スポーツ少年団		聖籠町剣道クラブ (新潟)		
4		剣心館		志布志武道館		城山台剣友会 (和歌山)		
5		長嶺地域スポーツクラブ		野間剣道スポーツ少年団		生田えびら会 (兵庫)		
6						竹原少年剣道つばめ会 (広島)		
7						黒瀬剣道教室 (広島)		
8						愛媛成武館 (愛媛)		
9						多久聖風会 (佐賀)		
10						三田川少年剣道クラブ (佐賀)		
11						大村剣西クラブ (長崎)		
12						三芳少年剣士会 (大分)		
13						宜野湾地区剣道スポーツ少年団 (沖縄)		
14								
15								
16								47都道府県
17								+道場連盟
18								
19								
20								
計	2	4	1	4	1	13		257